

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 1】

<p><エントリーシート></p> <p>※事務局記入欄</p> <p>No. : C - 5</p>	<p>部門</p> <p>校内研修</p>	<p>学校名・氏名</p> <p>和歌山県海南市立 東海南中学校</p>
<p>活動名</p> <p>レンタル Teacher 制 小中連携を強化する授業研修</p>		
<p>課題の設定：</p> <p>本校は 3 つの小学校から生徒を迎える。各小学校はそれぞれ特徴を持ち、中 1 ギャップを取り除く準備を早期の段階から必要であるという課題を抱えている。(資料①) そこで 9 か年を見通した小学校と協働する指導体制の構築が必要だと考えた。その指導体制を構築するために別記目標(資料②)を設定して取り組んだ。</p>		
<p>方針・計画：</p> <p>課題解決に向けて、小中連携強化の必要性を教員は実感している。ただ多忙化の中、相互の教員が時間を作ってまで行うほど有益と感じる具体的な連携活動が行われていない。そこで、小学校の先生が苦手とする教科を中学校の教員の専門性を生かして支援していくと同時に、中学校教員は教科指導の力量を高める研修的要素を盛り込んだ取り組みを考えた。</p>		
<p>活動内容：</p> <p>小学校から要請を受けた学年の教科(資料③)に対して、その教科の教員免許を有する中学校教員が小学校に赴き、授業を行う。中学校教員は小学生に授業を行うだけでなく、小学校教員が知りたい・得たい知識や技能を提供する。研修という観点から、一定の条件(資料④)の元で授業を行い、「事前打ち合わせ→授業→事後協議」を行うことで、小中教員の教科を通しての交流を図った。</p>		
<p>活動の成果：</p> <p>○技能教科の中学校教員が専門性を発揮する機会を得たことで、授業づくりについての意欲が高まった。 ○小学生を指導することで、配慮を要する生徒に対しての手立てについての意識が中学校教員に高まった。 ○図工、体育、音楽を苦手とする小学校の教員(特に若手教員)が、指導技術等を実際に目にしながら研修できた。特に授業計画を遅らせることなく研修できることへの評価が高かった。 ○小学生に新鮮な雰囲気を与え、授業へのやる気を高められた。また、次年度入学して来る児童の授業実態や小学校の抱える課題等を中学校の教員が肌で感じる事ができた。それにより、中学校の職員室で入学して来る小学生の良い点、悪い点等が話題になる機会が増えた。 ○児童生徒や教科のことで小中学校職員との交流が、加重負担をあまり感じさせずにできた。 ※資料⑤参照</p>		
<p>アピールポイント(アイディアや工夫)：</p> <p>○技能教科を中心に小学校の要請に対して、中学校の専門性を小学校の授業で提供したこと。(小学校教員への研修の機会の提供、中学校の技能科教員の奮起の促進、中学校教員の負担軽減) ○小学校のすべての学年、すべての教科の要請に対して中学校の専門性を提供するようにしたこと。(中学校教員の一体化) ○小学校の授業が遅れないように、教科書授業の一部分を中学校の教員が指導するようにしたこと。(中学校教員の授業力の向上、小中学校教員レベルでの交流、小学校の負担感の軽減) ○中 1 ギャップに対する対策を早い段階から全職員で協議すること。(計画的な加配教員の申請)</p>		

【資料①】3 小学校の特徴

K小学校	N小学校	M小学校
児童は落ち着いており、市内では学力が常に上位。地域も教育に関心が高く、協力的。	学年により、児童の落ち着き度にばらつきがあり、市内では学力が常に下位。地域は教育に関心が高く、協力的。	複式学級で、学力は年度により高低変動が大きい。地域は教育に関心が高く、協力的。

【資料②】指導体制構築に向けての目標

3 小学校の教員と中学校教員が児童生徒への教科指導や児童生徒の生活指導等で意見交換する場を作る。

- ・三野上教科部会の構築する
- ・三野上の児童生徒を 9 ヶ年で育てる姿をイメージ化し、成長 Can-Do リストを作成する

【資料③】要請を受けた教科

- H29 年度
 - ・図工……水彩風景画(小 5, 小 6) ①デッサン ②水彩 ③仕上げ
 - ・体育……市内小学校陸上競技大会に向けて(小 6) ボール投げ, ハードル, 走り幅跳び等
 - ・▶外国語活動……外国語活動の会話活動(小 6)
- H30 年度
 - ・音楽……合唱指導(小 4) 混声 2 部合唱, 器楽指導(小 4)
 - ・図工……ポスター画, 運動会の絵(小 5・小 6) ①構図 ②着色 ③仕上げ
 - ・英語……小学校英語と中学校英語の繋がりを意識した授業(三野上英語部会の発足)

【資料④】レンタルティーチャー制度の条件

- ・小学校からの要請に対して、小学校教員の研修として実施する。
- ・レンタルティーチャーの授業実施日の 1 ヶ月以上前に要請を中学校にするする。(詳細日程は、連絡調整)
- ・技能教科(音楽、図工、体育)においては、単元の導入→中間→仕上げの時間で実施する。
- ・技能教科以外は、単元で指導がうまくいかない部分の授業で実施する。
 例えば 理科の実験、算数の文章題、英会話活動 など

【資料⑤】レンタルティーチャー制度に対する評価

- ・講師や採用 5 年以内の教員に対して、技能教科の指導についての研修として役立った。〔小学校管理職〕
- ・技能教科の教員が中学校で専門性を発揮させる時間(体育; 9 時間/週, 音楽・美術; 3.3 時間/週)が少ないため、自分の専門性を発揮させる時間が加重負担にならない程度で増えて良い。〔技能教科の中学校教員〕
- ・小学校生を継続的に指導する中で、指導する小学生の状況が良く理解でき、中学校へ入学して来る際の受け入れ準備がイメージしやすい。(中 1 ギャップを小さくする手立ての準備)〔指導した中学校教員〕
- ・3 つの小学校の指導スタイルの違いや抱えている課題がよく見えた。〔指導した中学校教員〕
- ・構図の取り方、水彩画の着色の仕方等を授業指導の中で研修できてよかった。〔小学校教員〕
- ・ハードルの跳び方の指導の仕方の幅が広がった。〔小学校教員〕
- ・出前授業のスタイルではなく、小学校の授業計画の中で中学校教員が指導してくれることは、小学校教員の負担感が少ない、児童にも新鮮みを与える授業となった。〔小学校教員〕
- ・技能教科教員のやる気起こさせる機会となった。小学校の授業づくりに工夫を凝らす姿が見られた。また、授業改善に対して中学校全教員で取り組む雰囲気が高まった。〔中学校管理職〕
- ・絵やポスター制作等の場面で中学校の美術の教員が実際に小学生に指導する姿を見せることは、若手教員の指導技術研修になるので、美術教員の加重負担にならないように気をつけながら進めてほしい。

〔市教育委員会〕